



令和7年6月20日（金）、十和田市立法奥小学校の自然体験学習が行われました。法奥小学校では毎年、地元の奥入瀬川漁業協同組合、奥瀬堰土地改良区、十和田自然農楽郷の協力の元、奥入瀬川にヤマメの稚魚を放流する活動を行っており、今年は全校児童44名が参加しました。

当日は晴れやかな日差しの眩しい快晴で、十和田市内では27度の夏日を記録していました。しかし青々とした木々が生い茂る十和田自然農楽郷は木漏れ日と奥入瀬川からの風で涼しく、児童たちは心地よさそうに笑みを浮かべていました。



【開会のあいさつ】



【改良区職員から説明を受ける様子】



【いざ奥入瀬川へ】

奥入瀬川の川岸まで移動した児童たちは協力参加の保護者達から稚魚の入ったバケツを受け取ります。川底の石はコケで大変滑りやすくなっているため慎重に身をかがめ、バケツから稚魚を放流しました。児童たちは澄んだ奥入瀬川の流れに逆らうように泳ぎ始めた稚魚の様子に歓喜の声を上げ、「大きくなるんだぞ！」と見送っていました。



【稚魚の放流の様子】



【涼しい川の水を楽しむ児童】



【集合写真】



【奥入瀬川を泳ぐヤマメの稚魚】



【お昼ご飯】

ヤマメーではなく、漁協の方がご厚意で用意してくれたニジマスの串焼き

関連事業：中山間地域ふるさと活性化事業（通称：ふる水基金、棚田基金）
<https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/nourin/noson/hurumizutanada.html>